

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

安全運航のもと、人とその心を大切に、個性、創造性、ホスピタリティをもって、『感動のあるエアライン』であり続ける

② 中長期の経営戦略

1. 収入拡大と財務体質向上

収入拡大による利益創出と財務体質の健全性向上に取り組む

3. ESG経営の推進

ESG経営の推進により企業価値を向上させる

2. 人財育成・採用

「THE STARFLYER人財」の育成・採用を推進

4. 新規事業領域拡大

新規事業領域の拡大に取り組む

③ 対処すべき課題

① 競争環境の激化

- ・ LCC・大手航空会社の攻勢強化への対応
- ・ 為替相場・原油価格変動への対応
- ・ 新幹線等交通機関との競争激化

② コロナ禍からの回復

- ・ コロナ禍前水準以上の回復と成長の実現
- ・ 顧客ニーズと生活変化への対応

③ 国内線基盤の確立

- ・ 国内線主体での経営基盤作り
- ・ 次の飛躍への準備期間として2024～2025年度に取り組む

面接で使えるポイント

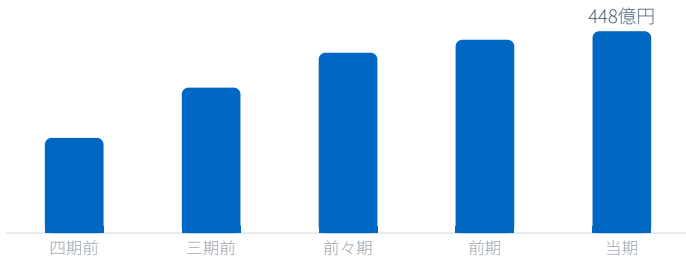
- ・ 中期経営戦略2025で掲げる「次の飛躍」に向けた基盤作りにおける役割について
- ・ 安全運航を至上責務とし感動のあるエアラインを実現する行動指針への共感度
- ・ A320neo型機導入など環境配慮と経営基盤確立の両立への関心

株式会社スターフライヤー

空運業 | スタンダード（内国株式） | 決算期 3月31日

証券コード 9206

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



要するに
株式会社スターフライヤー事業要約
...

- 主力事業・セグメント
- ・空運業（セグメント未開示）
- 強み・特徴（公開データから）
- ・将来性評価は晴れ

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高 －（未開示）	営業利益率 －（未開示）	財務健康度 44点 / 100点
-----------------	-----------------	---------------------

将来性 晴れ / 就活偏差値 45.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収 697万円 空運業内 4位/5社	平均年齢 38.7歳 空運業内 4位/5社	平均勤続 8.6年 空運業内 4位/5社	女性管理職 24.7% 空運業内 2位/4社	男性育休 100.0% 空運業内 2位/4社
-----------------------------	-----------------------------	----------------------------	------------------------------	------------------------------

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: スターフライヤー 嚴重注意 国交省

株式会社スターフライヤー 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyo-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書
将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。
投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

